

# HIDWR

Hyogo Infectious Diseases Weekly Report

## 兵庫県感染症発生動向調査週報(速報) 平成 22 年第 51 週 (12 月 20 日～12 月 26 日)

兵庫県感染症情報センター (兵庫県立健康生活科学研究所:健康科学研究センター)

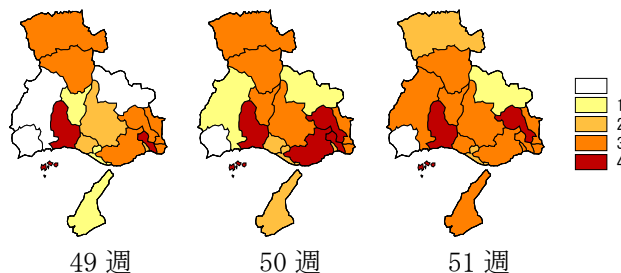
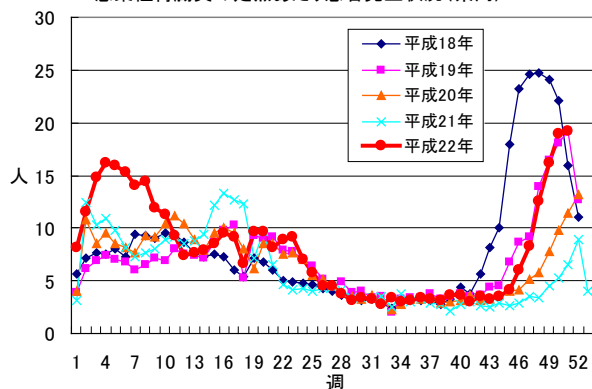
全国の情報は国立感染症研究所感染症情報センターホームページにてご覧ください。 <http://idsc.nih.go.jp/index-j.html>

### 定点把握感染症 (指定された医療機関から報告を求める感染症です)

#### 感染性胃腸炎

定点あたり患者数は今週 **19.26 人** (先週は 18.95 人) と増加し、第 51 週では過去 5 年間で最も多い患者数となりました。また平成 18 年のピーク時に次ぐ患者発生となっています。地域的には姫路市、宝塚保健所管内のほか、県下全域にかけて患者が増加しています。この時期の感染性胃腸炎はノロウイルスによるものが多いと言われています。手洗いの励行を基本に、吐物などの後始末を素手で行わない、二枚貝類は十分に加熱して食べるなどの注意が重要です。

感染性胃腸炎の定点あたり患者発生状況(県内)

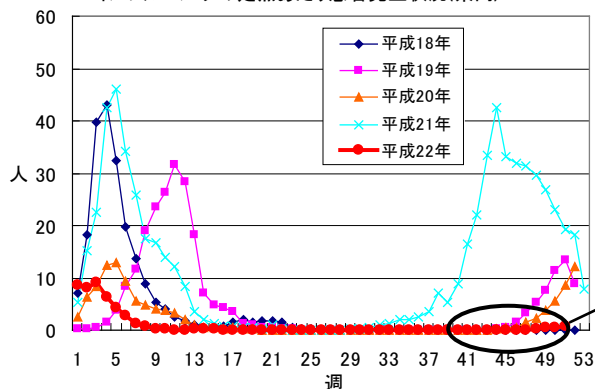


#### インフルエンザ

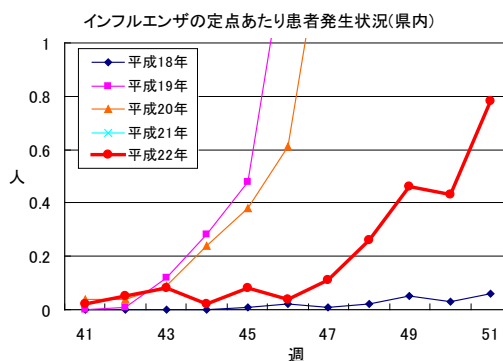
定点あたり患者数は今週 **0.78 人** (先週は 0.43 人) と増加しました。全国的には第 50 週に定点あたり患者数が 1.41 人となり、全国的な流行開始の指標である 1.00 を上回りました。警報レベル (定点あたり 30 人以上) を超えている保健所管内があるのは北海道、注意報レベル (定点あたり 10 人以上) を超えている保健所管内があるのは、宮城県、佐賀県、長崎県となっています (第 50 週)。インフルエンザの今後の動向にご注意ください。

全国で検出報告されたインフルエンザウイルスは、第 49 週以降新型インフルエンザ (AH1pdm) が急増し、A 香港型 (AH3 亜型) の検出報告数を上回りました。

インフルエンザの定点あたり患者発生状況(県内)



(拡大図)



### 定点あたり患者数の上位 10 位の疾病

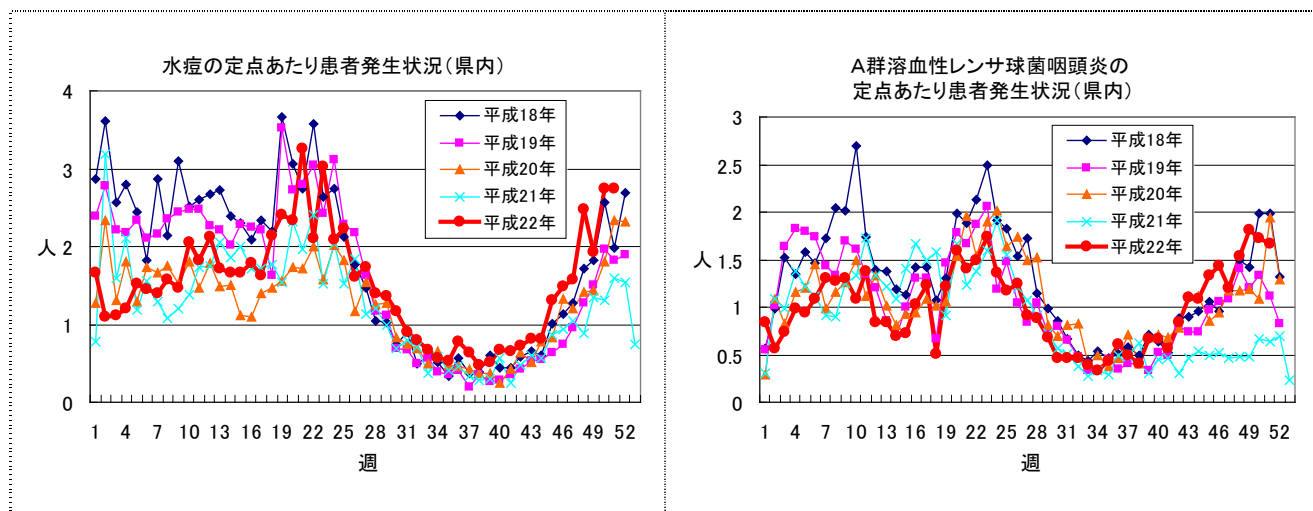
	疾病名	定点あたり患者数		増減		疾病名	定点あたり患者数		増減
		今週	先週				今週	先週	
1 位	感染性胃腸炎	19.26	18.95	+0.31	6 位	インフルエンザ	0.78	0.43	+0.35
2 位	水痘	2.74	2.74	±0.00	7 位	咽頭結膜熱	0.67	0.77	-0.10
3 位	RS ウイルス感染症	1.91	1.16	+0.75	8 位	流行性角結膜炎	0.53	0.83	-0.30
4 位	流行性耳下腺炎	1.78	1.81	-0.03	9 位	伝染性紅斑	0.43	0.27	+0.16
5 位	A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.66	1.72	-0.06	10 位	突発性発しん	0.37	0.47	-0.10

### 全数把握感染症（すべての医療機関から報告を求める感染症です）

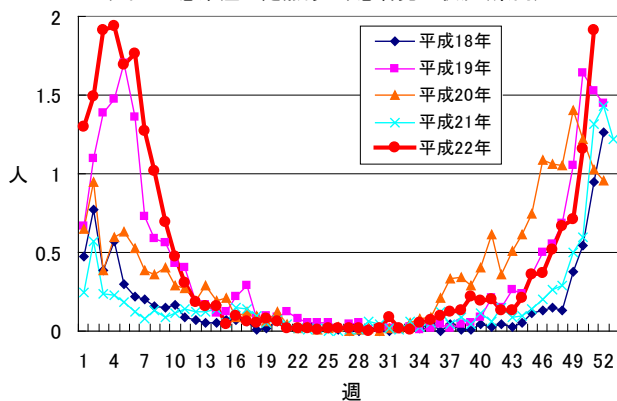
1 類感染症	報告はありません。
2 類感染症	<b>結核 25 名</b> （神戸市 9 名、尼崎市 3 名、姫路市 3 名、西宮市 3 名、伊丹保健所管内 1 名、加古川保健所管内 2 名、加東保健所管内 1 名、龍野保健所管内 1 名、赤穂保健所管内 1 名、朝来保健所管内 1 名）
3 類感染症	<b>腸管出血性大腸菌感染症 3 名</b> （有症者 3 名、うち HUS 0 名） （加古川保健所管内；O157 VT1+ 女性 8 歳 1 名、赤穂保健所管内；O157 VT2+ 男性 10 歳代 1 名、洲本保健所管内；O26 VT1+ 男性 8 歳 1 名）（累積報告数 187 名；有症者 127 名、うち HUS 2 名）
4 類感染症	<b>つつが虫病 1 名</b> （伊丹保健所管内；男性 60 歳代 感染地域；国内）、 <b>レジオネラ症 1 名</b> （宝塚保健所管内；肺炎型 女性 90 歳代 感染地域；国内、感染経路；水系感染）
5 類感染症	<b>後天性免疫不全症候群 1 名</b> （AIDS）（感染地域；国内）（感染経路；同性間性的接触）
追加報告	<b>結核 6 名</b> （尼崎市 1 名、西宮市 1 名、宝塚保健所管内 1 名、加古川保健所管内 1 名、加東保健所管内 2 名）、 <b>レジオネラ症 1 名</b> （神戸市；肺炎型 男性 70 歳代 感染地域；兵庫県）、 <b>アメーバ赤痢 1 名</b> （神戸市；腸管外アメーバ症 男性 30 歳代 感染地域；兵庫県、感染経路；異性間性的接触）、 <b>急性脳炎 1 名</b> （尼崎市；病原体（単純ヘルペス 2 型 男性 0 歳 感染地域；兵庫県）

### 目で見る動向（県内）

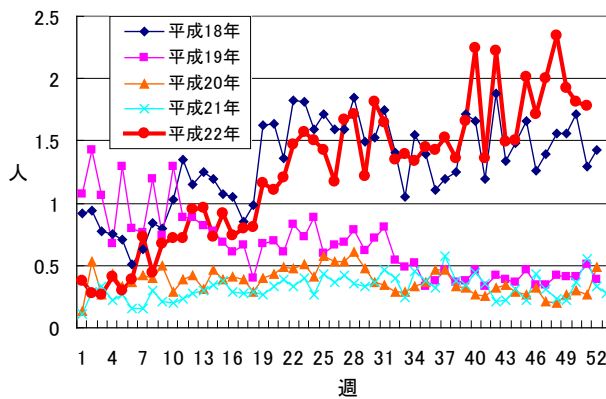
冬型感染症の流行シーズンになっています。水痘、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、RSウイルス感染症などの患者数が多くなっています。流行性耳下腺炎、咽頭結膜熱、伝染性紅斑の患者数も増加傾向にあります。



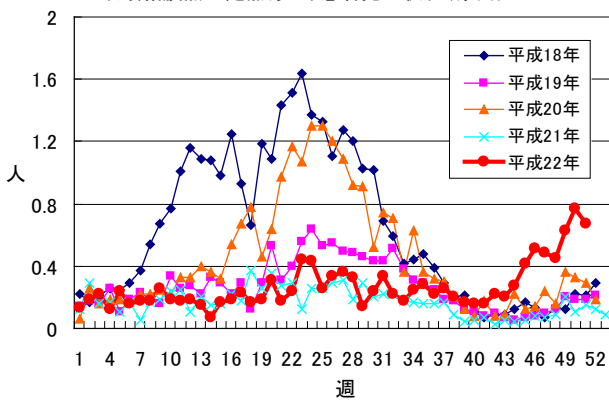
RSウイルス感染症の定点あたり患者発生状況(県内)



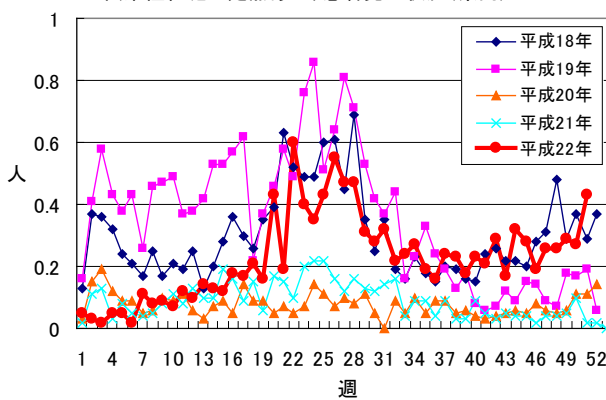
流行性耳下腺炎の定点あたり患者発生状況(県内)



咽頭結膜熱の定点あたり患者発生状況(県内)



伝染性紅斑の定点あたり患者発生状況(県内)



この週報は兵庫県立健康生活科学研究所：健康科学研究センターホームページ <http://www.hyogo-iphes.jp/> にも掲載しています。  
 また、<http://idsc.nih.go.jp/index-j.html> から国立感染症研究所感染症情報センターの週報（IDWR）がダウンロードできます。